## 令和7年度 道徳教育 全体計画

学校 14 長野 高等学校 定 課程 普通 科 番号

## 学校教育目標

- 1. 個人の尊厳を重んじ、真理と平和を愛し、国家社会の有為なる人材の育成を
- 1. 個人の尊厳を重んじ、真理と平和を愛し、国家社会の有為なる人材の育成を 耕する。 2. 高邁にして、明朗闊達、至誠一貫、質実剛健、和衷協同の精神を涵養し、身 体の鍛錬と相まって、心身の調和的発達をはかる。 3. 生徒の個性を豊かに伸ばし、各々その目的を達成させるために適切な指導を する。

## 重点目標

- 安心して学べる環境をつくるために、一人一人の生徒の様子を的確にとらえる。
   基本的な生活習慣の確立にむけ、きめ細やかに生徒に接する。
   わかる授業と力を伸ばす教育を実践するために、一人一人の理解度・進路希望に応じた指導を行う。
   4、补別で教育の充実や校外活動の充実を通じて、自立できる人間となれるようが「トする。
   開かれた学校となるように、ホームページなどを用い広く情報発信をする。

## 道徳教育の重点目標

- 生命・人権を尊重すると共に、社会における義務と責
- 1. エロ・八幅を専里すると共に、社会にわける義務と貝任を持てる力を養う。 2. 社会での自活に必要な基本的生活習慣を確立し、また社会人として必要な礼儀・マナーを身につける。 3. すべての生徒が安心して学校生活を営むことができるよ
- う相手の立場や人格を尊重する思いやりの心を育てる。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	動を通して, 社会 の一員として自律	づけにきっかけにきっかけにさいかけにさいます。 つけくる習慣をつけてくる習慣をいく。 ○アルバイトップ・シークリーの ・カークーの ・カーの ・カーの ・カーの ・カーの ・カーの ・カーの ・カーの ・カ	○各種の事例研究 からSNSの有効 的な活用法を学習 ○いじめを主眼に	
2年	基立は主体のは、生高員能化考した。と変者とのでは、生ののでは、生ののののでは、生ののののでは、生ののののでは、生のののでは、生のののでは、生のでは、生	む。 ○アルバイト等の 職業体験 ○進学・就職探究	ンの大切さを学 び、他者への専動 が自尊感情を高い ることを認識しな がら、より良い集 団づくりに向けて	つと、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は
3年	必要な社会の諸体は 会の諸体な、 を を 対して が して が して が して が した が した が した が した り に が り で が し た り に り た り た し し た り る し し る し し る し る し る し る し る し る し る	○アルバイト等の体験 を生かした就職活	る自覚を持ち、在	てるように人権尊 重の社会の実現に 向けた校内外の活動に投内外の 動に徒会の運営の 中心 〇文化祭の運営の 中心

	各教科			
	国語	言葉での論理的思考力を高め、他者とのコミュニケーション力を磨き、社会における道 徳的心情や適切な行動ができる判断力を育む。		
	地理歴史	社会との関連を意識して課題の設定をし、世 界各地域での人々の生き方や歴史を学ぶこと で、他者への積極的な関心を持つ力を育む。		
	公民	現代社会との関わりを意識した課題探究により、未来の社会を考えつつ、周囲と協調する 生き方を選択出来る力を育む。		
	数学	数学的な見方・考え方や論理の形成に触れる ことを通し、論理的思考力を育み、粘り強く 考える態度や創造性を養う。		
	理科	自然界の事象を探究する活動を生かして、環 境に配慮してグローバル的な視点をもった判 断力や真理を大切にする態度を育成する。		
	保健体育	身体活動を伴う授業において、集団で目標達成へのアプローチ等を通して、他者との協力と存在を認めていく態度を養う。		
	芸術	芸術的な見方・考え方を学び、感性を高める ことで、心豊かな生活や社会を創造する精神 を養い、豊かな情操を培う		
	外国語	未知の言語の学びから異文化への関心理解を 深め,外国語を用いてコミュニケーションを 試みる積極性を養う。		
	家庭	日常生活にある伝統的な見方・考え方も学ぶことで、家庭や地域社会の一員の自覚を持ちつつ, 自分の生き方を考える態度を育成する。		
	情報	機器を扱える能力と共に、情報モラルの学習 を通じて、情報社会で適正な行動がとれる考 え方と態度を身に付ける。		
	総合的な 探究の時間	各事象について探究する考えや多方面の見方 を学習する過程を通して、課題解決に自主性 と周囲との協働性の両者が必要であることを 経験し、そこから新たな価値を創造しよりよ い社会を実現する力を養う。		



家庭・地域 との連携

・校内の諸活動により地域に貢献できる学校として、周辺清掃や学校園芸の活動等を通し、社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。
・日常生活の中で生徒の自尊感情を高めるとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者

としての自覚を高められるように、家庭との連携を緊密にしていく。